

事例10

< 事例概要 >

- ・ 70歳代、前立腺癌の患者。死亡時画像診断（Ai）有、解剖無。
- ・ 原因薬剤は、MRI造影剤（プロハンス）。MRI検査室で発症。
- ・ 過去にヨード造影剤（オムニパーク）を使用し、アレルギー症状の出現無。
- ・ 造影剤注入から30秒後、苦しそうであったため撮影を中止し、医師等へ連絡。初発症状から2分半後、気分不快、全身発赤、四肢硬直が出現。3分半後、アドレナリン0.3mgを筋肉内注射。7～8分後、心停止となり救急処置を実施するが、約4時間後に死亡。